

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドウィッシュむろやま				公表日	2025年2月5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	職員が少ない分、いる職員全員で声を掛け合って子どもの対応をしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	窓が少ないため、換気があまりできない。視覚支援のために、手洗いの順番や声の大きさをわかりやすい絵ポスターなどを貼っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	3	運動支援室に窓がない。運動支援室と普通の支援室と部屋わけてつかっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	3	活動で集中させたいときは、パーティションを立てたりして工夫している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2	PDCAサイクルについて実行していない職員もいるため、今後も話しをしPDCAサイクルについては、職員全体で徹底していくようにする。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	今回初めての外部評価なので、今後結果を業務改善につなげたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	パート職員とは、時間がなかなか作れず支援内容を伝える時間が持てないこともあるので、朝礼簿・終礼簿などを活用していく。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	1	活動会議で話し合い、活動を決めて支援をしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	地域の保健・医療・障がい福祉・保育・教育等の関係機関と連携する機会があまりないので、今後は繋げていく。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4	初めての移行時期なので、園や児童発達支援事業所等としっかり情報共有と相互理解に努めていきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		まだ福祉サービスへ移行されるご利用者様がいないので、今後移行される場合は情報を提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		児童発達支援センターとの連携はとれているが、スーパーバイズからの助言や研修を受ける機会をつくってきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		地域の生活介護施設との交流はしているが、放課後児童クラブや地域の子どもと活動する機会がわからない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	新規事業所のため、連絡がきていなかった。その後参加予定にしているが、感染症が蔓延して時期は自粛している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を今後は行っていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4				
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4			地域とどのようにつながっていけばいいのかわからない。 今後は調べて考えていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	1			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2			アレルギーについては、ご契約時にお聞きしています。食物アレルギーのお子様がないので、特に医師の指示書は頂いておりません。今後、アレルギーのお子様をお預かりする際は対応をまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			定期的に安全管理に必要な研修や訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			保護者様にはご契約時に説明をさせていただいております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			ヒヤリハットが起きたときは小さなことでも書面に残し、次にどうしたらいいのかを考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			虐待防止の研修を職員全員で受けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			身体拘束については、やむおえず身体拘束が必要と思われるお子様の保護者様に同意書を書いて頂いている。		

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドウィッシュむろやま

公表日 2025年 2月 5日

利用児童数 7

回収数 7

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	2			補充があれば適切かと思えます。 職員が少ないと思う大変そうです。	職員の求人を出して募集をしております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1				これから心地よく過ごせる環境設定に努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7				運動もあれば机上作業もあり、多様なプログラムで子ども自身も充実しているように見受けられます。	それぞれに合った療育ができるように心がけていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	2	1		外出支援で児童館等によく連れて行っていただいています。	時間が長いときなど今後毎日のメリハリを考えて活動に取り入れていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6			1	保護者会と言わなければ他の保護者様と交流できる機会がありました。	今後の保護者会では、保護者様・職員がいっしょに学べるようなものを取り入れていこうと考えております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7				学校（担任教諭への）連絡帳を共有することで家での様子、学校での様子、施設での様子と三者で共有できています。	保護者様とお子様について共有しながら、次の支援に繋げてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7				学校（担任教諭への）連絡帳を共有することで家での様子、学校での様子、施設での様子と三者で共有できています	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7				学校（担任教諭への）連絡帳を共有することで家での様子、学校での様子、施設での様子と三者で共有できています	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6			1		まだ一度もきょうだいへの交流の機会を設けられていないので、今後は検討していきたいと思えます。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				LINEの活用により円滑にできていると感じています。	LINE以外でも送迎時、電話等で相談しやすい環境作りをしていきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				LINEの活用により円滑にできていると感じています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1				職員内で事故やケガなどの対応について共有しております。また新たに対応をマニュアル化したしました。即座に対応してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7					
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					